



学校便り

高甫っ子

平成30年4月26日

NO 3

須坂市立高甫小学校

文責 黒岩

みんなでわかり合って つくる児童会

4月19日(木)に第1回児童総会が開かれました。今年度のスローガンは、「みんなでわかり合ってつくる児童会」です。

児童会活動は、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てることがねらいです。

すでに委員会ごとに当番活動がスタートしています。全校児童が気持ちよく毎日の生活が送れるように、みんなで分担して、それぞれの活動に精一杯取り組みましょう。



<p>三</p> <p>じ ど う か い</p> <p>た か ほ の ち え を</p> <p>あ つ め て す す も う</p> <p>み ん な の ち え を</p> <p>じ ど う か い</p> <p>き よ う も げ ん き な</p> <p>さ よ う も げ ん き な</p> <p>た く ま し い み ん な</p> <p>こ こ ろ も か ら だ も</p>	<p>二</p> <p>じ ど う か い</p> <p>あ ふ れ て い る</p> <p>た か ほ の ち え を</p> <p>じ ど う か い</p> <p>や さ し さ い い つ ば い</p> <p>い つ ば い あ つ ま る</p> <p>い つ ば い あ つ ま る</p> <p>み ん な の こ こ ろ が</p> <p>や さ し さ い い つ ば い</p>	<p>一</p> <p>じ ど う か い</p> <p>た か ほ の ち え を</p> <p>か が や い て い る</p> <p>た か ほ の ち え を</p> <p>じ ど う か い</p> <p>い つ ば い あ つ ま る</p> <p>い つ ば い あ つ ま る</p> <p>み ん な の ち え を</p> <p>ほ ほ え み た く さ ん</p>	<p>高甫小学校児童会の歌</p> <p>作詞 村石純子</p> <p>作曲 藤澤智子</p>
---	---	---	---



4/20(金)に第1回PTA総会が開催されました。平成29年度の事業報告・決算報告並びに平成30年度の事業計画・予算案が承認されました。

総会後の歓迎会において、富澤・池田両顧問に感謝状が贈呈されました。一年間ありがとうございました。

4月20日(金)に、第1回授業参観が行われました。多くの保護者の方が見守る中、子どもたちもいつになくはりきっていました。



お知らせ

今年度、ALTの先生としてジェイミー先生が赴任されました。ジェイミー先生は、スコットランド出身です。来日して3年目になります。日本語もだいぶうまくなりました。ジェイミー先生の授業は、1・2年生が年間8時間、3・4年生が12時間、5・6年生が27時間です。



PTA校長講話より

米デューク大学のキャシー・デビッドソンが、2011年8月のニューヨークタイムズ紙のインタビューで衝撃的な発言をしました。それは「今年、アメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」というものでした。皆さんはこの話を聞いてどう思いますか。

さらに続けると、“今後 10～20 年で、約 47%の仕事が自動化される”といった予測もあります。今でこそ普通に使っている携帯電話や車のナビ、手を使わずに勝手に掃除をする掃除機。ハンドルを握らなくても勝手に車庫入れをする車などなど、私たちが小さいときに、そんな時代が来るなんて想像もありませんでした。そうすると、10年後はどんな社会になっているでしょうか。我々大人も予想が付きません。では、子どもたちは、今、何を学ばばいいのか？これを学んだから大丈夫だと、だれも太鼓判を押せません。では、どうすればいいのか？予測できない事態に遭遇したとき、今まで学習してきた知識を使っても多分解決はできないでしょう。でもなんとかしなければいけません。このなんとかしようとする力こそが、これからの子どもたちが身につけるべき力だと考えられています。小学校では、平成32年度から新しい学習指導要領が実施されます。新しい学習指導要領では、予測できない社会を生き抜く力の育成が必要だとされています。そのために、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりをする。教科の枠にこだわらずに学習の成果が活かせるようにカリキュラムをマネジメントする。そして、家庭や地域社会との連携・協働による楽しい学校を目指すことと示されています。ちょっと難しい言葉が並びましたが、実は、高甫小ではすでに20年以上前から実施していることでした。平成10年に今の学校教育目標「明日の日本をになう子ども」が据えられました。以来、今日まで地域と共に歩んできた高甫小の歴史そのものが、予測できない時代を生きるための力の育成のカギを握っていると言えると思います。

とはいっても、今までとは違うことも始まります。いくつか紹介します。例えば、道徳が教科となります。教科になることで教科書が新しくできました。教科であれば当然評価もされます。でも数字による評価ではありません。キーワードは「考え、議論する道徳」といわれています。大切なのは主体的に考えると言うことです。また、新たに外国語・外国語活動が始まります。今までも英語の授業はありましたが、「聞く」「話す」ことで外国語に親しむことが中心でしたが、これからは「書く」「読む」といった文字に触れながらしっかりと身につけなければなりません。単語も多少は覚える必要があります。自分たちが昔習った英語の授業を思い出すと、小学校から大丈夫かなと不安になるかもしれませんが、そこは大丈夫です。昔から「習うより慣れろ」と言われます。子どもたちの脳は柔軟です。毎日目にしたり、繰り返して書いたりすることで自然に身につけていきます。

他にも各教科で習う内容が若干変わりました。覚える漢字も増えます。4年生で都道府県名をすべて漢字で覚えることになりました。

さて、高甫小に赴任して半月が過ぎました。毎朝、玄関で子どもたちと挨拶を交わしています。みんな元気に挨拶してくれます。校長室にいと、休み時間に「校長先生、一緒に遊ぼ。」と誘いに来る子もいます。遠くから声をかけてもらったり、手を振ったりしてくれます。子どもたちは本当に素直で明るく元気だと感じました。この姿をこれからもずっと続けられるように職員一同、力を合わせて歩んでいきたいと思っています。先ほども話しましたが、これから大切なのは、インプットではなくアウトプットです。年齢が上がるにつれて、人前で話することに苦手意識を持つようになります。それを乗り越えて、自分の考えをその子なりの表現方法で発信できるようになってほしいと思います。

本年度の重点として、明るくあいさつのできるこ、くつをきちんとそろえること、無言でひたすらに磨く清掃を掲げました。お家でもお話しいただければと思います。

子どもにとって楽しい学校、保護者にとって安心して子どもを出せる学校、地域に信頼される学校づくりを、職員一同力を合わせて頑張っていきたいと思っています。今年一年よろしくお願ひします。